

学校教育目標 「自ら学び 心豊かに たくましく生きる児童の育成」



学校だより

えのき 3月号



皆野町立皆野小学校 令和8年3月2日 発行

「大切なものは目に見えない」

校長 吉田 浩

先日の授業参観日に、6年生の教室で感動する場面に出会いました。子供たちから保護者の皆様へ、感謝の手紙を渡す授業でした。「感謝」という目に見えない大切な気持ちを、自分なりの「言葉」に表して伝えていました。言葉では伝えきれない思いもあったかもしれません。そして、それを受け取る保護者の皆さんの「愛情」が混ざり合い、美しい涙がこぼれていた場面でした。

「心で見なくちゃ、ものごとはよく見えないってことさ。大切なことは目に見えないんだ。」これは、フランスのサン・テグジュペリという作家の有名な童話「星の王子様」の中で、主人公の王子様に向かって、キツネが言った言葉です。（詳細は原作をお読み下さい。）



もちろん、大切なものはたくさんあります。形あるもの、ないもの、人によってさまざまだと思います。その中で、思いやり、親切、愛情、やさしさ、友情・・・これらは、いずれも実際には見えません。もちろん「感謝」も本来は見えないものです。しかし、このような見えない宝物を持っていないと、どんなに物質的に恵まれていても人間は「幸せ」とは言えないのではないのでしょうか。目に見える宝物だけでは本当の「幸せ」にはなれません。皆野小の子供たちが持つ「感謝」、保護者の皆様の「愛情」... これらが本当に大切なものではないのでしょうか。

今、子供たちの周りには、ネット社会による無数の情報があふれています。もちろん有益な情報もたくさんありますが、デジタルな情報が本当かウソかを見抜くことはなかなか難しいものです。そんな時に、子供たちが「大切なものに気づく力」は、周りにいる人々の「愛情」や「友情」「思いやり」によって育まれると思います。冬季オリンピックに出場した選手のインタビューでも、周囲の方々からの応援やサポートに対する感謝の思いが多く語られていました。時には行いを正す厳しい言葉でも、愛情の

ある言葉は、子供たちに届くと思います。そんな大切なものに気づき、本当の「幸せ」を感じられる子供たちがいっぱい皆野町にしていくために、学校、家庭、地域で力を合わせていければと思います。そして、3月24日の卒業式では、そんな幸せな心を持った6年生が巣立っていくことを願っています。

